

## 令和5年度第4回羽幌警察署協議会議事概要

### 1 開催日時

令和6年3月8日（金）午後1時30分から午後3時05分までの間

### 2 開催場所

羽幌警察署 2階 大会議室

### 3 出席者

(1) 協議会委員 7人（定員7人）

会長 對馬 亨

副会長 永井 範子

委員 佐藤 和史、舟橋 由紀子、上田 雄二、入江 雄治、大窪 敦子

(2) 警察署員 5人

署長 角 彰利

副署長 平 清一

刑事・生活安全課長 松井 康彦

地域・交通課長 杉原 保

協議会事務局 警務課警務係

### 4 警察署長挨拶

本日は、お足元が悪いなか、第4回警察署協議会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。また委員の皆さまには、警察行政の各般にわたり深いご理解と格別のご支援・ご協力を賜っておりますことに対して、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

当警察署協議会も早いもので、今回で今年度最後の開催となりました。

委員の皆さまには、本年度中、大変お世話になりましたことをあらためて御礼申し上げますとともに本日の協議会についてもよろしく願いいたします。

本日は、私の方から令和5年中の業務推進状況を説明させていただいた後、新入学期における交通事故防止、新入学期における犯罪被害防止を協議事項といたしまして、各課長の方から説明をさせていただく予定としております。また、協議会の後半では、委員の皆さま方から事前アンケートでご意見やご要望をいただいておりますので、これらにつきましてもご説明をしたいと考えております。

委員の皆さまには、忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願いを申し上げます。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

### 5 会長挨拶

開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日の協議会は、年度末の時節柄大変お忙しいなか、委員の皆さま、署長をはじめとした署員の皆さまのご出席をいただき、誠にありがとうございます。

年明け1月1日には能登半島沖地震が発生し、震度7を記録しました。石川県を中心に多くの方が亡くなり、避難生活者が1万人以上いるということで、皆さまもご承知かと思えます。今なおライフラインが復旧していない状況ということで、大変甚大な被害だったと思えます。一刻も早い復興を願うばかりですが、いつ襲ってくるか分からない、あらゆる災害に備えた対処の必要性を再認識したところかと思えます。

また、今年の冬は異常気象で、1月の大雪、2月の気温上昇により道内各地で落雪、屋根の雪下ろし中の事故等が多く発生したことが記憶に残っております。

幸いこの地域では、事故の発生は無かったと記憶しておりますが、吹雪による視界不良やホワイトアウトによる交通事故が発生し、初山別村の国道232号が、一時、通行止

めになったということが記憶に新しいところであります。

最後になりますが、警察業務について、日ごろから地域の声を聞き、住民のために、警察活動をより良くするための意見・要望等がありましたら、活発な発言をお願い致します。

## 6 業務説明

## 7 諮問事項

### (1) 新入学期における交通事故防止

(委員) これから春となり、子供達が自転車に乗る機会が多くなります。これに伴い自転車による交通事故が予想されますので交通安全教室等を開催して欲しいと思います。

また、ヘルメット着装が努力義務とされたと思いますが、実態としてはあまり着装している人がいない印象です。ヘルメットの着装率向上と含めた自転車の安全対策を行って欲しいと思います。

(警察) 毎年、入学期に交通係と生安係が児童を対象とした犯罪被害防止教室と自転車の交通安全教室を開催しており、今年も開催を予定をしています。

また、ヘルメット着装率向上につきましても、関係機関等と連携し、継続した広報啓発活動を実施していきたいと思います。

(委員) 高齢運転者によるアクセル踏み間違いによる交通事故の映像を視聴しましたが、映像に衝撃を受けました。高齢運転者によるブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故がどのようにして起きるのか説明してほしい。

(警察) 事故形態によって違うので一概には言えませんが、認知機能と運動機能の低下が原因と言われています。

例えば、バックギアに入れようとして誤ってドライブギアに入れてしまうという認知機能の低下、ブレーキを踏まなければならないけど瞬時にそれができない運動機能の低下により交通事故が引き起こされると言われております。

(委員) 現在、高齢者事業団の代表として公園の管理業務を行っていますが、職員は65歳以上の方ばかりです。仕事上、車の運転は不可欠なものですので、事故防止のため、職員にはお互いに声を掛け合うように言っております。ただ、なかなか浸透しておりません。

(警察) 警察では、あらゆる機会を通じて高齢運転者に対する広報啓発活動を行っています。今後も継続的に推進して高齢運転者による交通事故防止に取り組んでいきたいと思います。

また、自動車を買換えるときにサポートカー導入を検討することもひとつの方法かと思われますので参考にいただければと思います。

(委員) 先ほどの動画は非常にためになりました。このような動画を高齢者施設などで見せることも検討してほしいと思います。

(警察) 動画活用を検討します。

### (2) 新入学期における犯罪被害防止

(委員) 新入学期になって「いじめや犯罪ではないか」という場面に子供たちが遭遇した場合、保護者として学校と警察のどちらに話したらいいか教えて欲しい。

(警察) 子供のいじめに関することは、一時的に学校に連絡して対応していただくのが良いと思われませんが、暴行や傷害等が発生した場合、まずは子供の安全を確保しなければなりませんので、警察に連絡していただきたい。

また、北海道警察には、少年サポートセンターという部署があり、少年心理専門官によるカウンセリング等も行っております。保護者の許可があれば、学校や児童相談所等にも連絡を取り、連携して専門分野に引き継ぐことができます。

いじめは、学校だけ、警察だけで対応するというのは難しいものがあり、各

行政機関等と連携し、情報共有しながら対応していく必要があります。

大事なことは子供を孤立させないということです。被害に遭ったお子さんは精神的なダメージが大きいため、安心させることが大切です。また、お子さんだけではなく、ご両親が精神的なダメージを受ける場合もあり、各行政機関等と連携したご両親へのサポートも必要となります。

## 8 その他要望・意見に対する説明

### (1) 投資詐欺被害について

(委員) 留萌市で投資詐欺に遭ったというニュースを見て身近に感じています。どのような状況だったのか、どのように対処したらよいのかについて教えて欲しい。

(警察) 報道によりますと「留萌地方の50代男性が、投資グループの関係者を名乗る者から嘘の投資話を持ちかけられて、騙し取られた」という内容の投資詐欺となります。

投資名目の金融商品詐欺は全道・全国で発生し、急増しており、特にLINEを利用した投資詐欺被害が増えています。

その手口は、LINE等のSNSに掲載された著名人や経済アナリストを使った投資に関する広告をクリックすると突然グループトークに招待され、その中で投資を勧められ、結果として現金を騙し取られるというものです。

また、投資により儲かっている状況をグラフ等を見せることで信用させ、さらなる投資を促して現金を騙し取るケースもあります。

投資に関するSNS上の情報に対しては、お金を振り込む前に警察へ相談してください。

### (2) 道路の除排雪について

(委員) 今年は雪が多く、道路脇に雪が高く積まれ、見通しが悪い状態が続いたが、なにか改善する方法はないだろうか。

(警察) 除排雪作業は道路管理者の担当となるため、各種会合等を活用して道路管理者に意見を伝えたいと思います。

一方で、運転する側も、見通しの悪い交差点を通行する際には一時停止、徐行等に配慮していただき、歩行者も不用意に雪山の陰から飛び出すことのないよう、警察として広報啓発していきたいと思います。

## 9 次回開催期日及び諮問事項

次回開催期日は、令和6年5月下旬から6月上旬を予定  
諮問事項は、未定